コースコード：RH-AD248
税込価格：291,500円 (税抜価格：265,000円)
日数：5日間

ここに注目!!

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

Red Hat JBoss を初めて使用するシステム管理者または Red Hat JBoss Enterprise Application Platform 7 を使用した経験のあるシステム管理者

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

Microsoft Windows、UNIX、または Linux®
オペレーティングシステムにおけるシステム管理の基本的な経験

TCP/IP ネットワークの基本的な理解

Java またはシェルスクリプトの事前知識は不要です

無料のスキルチェック (https://www.redhat.com/rhtapps/assessment/)
でこのコースが自分のスキルに適切かどうかを確認してください。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

このコースは、アプリケーションの市場投入時間を最小限に抑え、管理作業を単純化するために必要なスキルを伸ばすことを目的としています。これらのスキルは、アプリケーションの安定性を高め、アプリケーションの管理コストを削減しようとする組織に適しています。
このコースはお客様にメリットをもたらすように作られていますが、個々の会社やインフラストラクチャの特徴は異なるため、実際に得られる利点には差異が生じることがあります。
このコースを受講すると、スタンドアローンおよびドメインモードの JBoss EAP 7 を、EAP CLI と Web コンソールの両方で管理できるようになります。

アウトライン

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform：アーキテクチャと機能
Red Hat JBoss Enterprise Application Platform のアーキテクチャと機能について説明する

スタンドアローンサーバーとしての JBoss EAP の設定
JBoss EAP のスタンドアローンサーバーインスタンスを設定する

設定スクリプトの作成とアプリケーションのデプロイ
コマンドライン・インタフェース・ツールを使用して JBoss EAP を設定し、Jakarta EE アプリケーションをデプロイする

マネージドドメインとしての JBoss EAP の設定
JBoss EAP をマネージドドメインとして設定する

マネージドドメインでのサーバーの設定
マネージドドメインでサーバーやサーバーグループを設定する

データソースの設定
JDBC データベースドライバーとデータソースを設定する

ロギングサブシステムの設定
ログハンドラーとロガーを設定する

メッセージング・サブシステムの設定
メッセージング・アーキテクチャを理解し、さまざまなメッセージングリソースを設定する

JBoss EAP のセキュリティ保護
セキュリティ設定を適用して、JBoss EAPにデプロイされたアプリケーションのセキュリティを強化する

Java 仮想マシンの設定
スタンドアローンサーバーとマネージドドメインで JVM を設定する

Web サブシステムの設定
Web サブシステムのコネクター、サーバー、およびその他の機能を設定する

クラスタ化されたアプリケーションのデプロイ
クラスタ化されたアプリケーションのデプロイをサポートするさまざまなサブシステムを設定する

注：学習内容は、テクノロジーの進歩や対象業務の性質の変化に伴って変更されることがあります。